

韓国水資源公社・四大河川事業について

◆韓国水資源公社 K-water の概要(抄)

<https://ja.namu.wiki/w/%ED%95%9C%EA%B5%AD%EC%88%98%EC%9E%90%EC%9B%90%EA%B3%B5%EC%82%AC>

1. 概要

○韓国水資源法人法(目的)の第1条

この法律の目的は、韓国の水資源社を設立し、水資源を包括的に開発および管理し、生活水の供給を促進し、水質を改善し、公共の生活の改善と公共福祉の促進に貢献することを目指す。

○気候・エネルギー・環境省傘下の準市場公営企業で、水資源に関する事務および販売を管理する。本社は大田広域市 大徳区 新丹津路 200 番地(延竹洞山 6-2)に位置している。

○主務官庁は従来国土交通部だったが、「水管理一元化」などのための政府組織法改正により 2018 年 6 月 8 日以降、国土交通部の水資源政策局など関連部署などとともに環境部に変更。

○中央行政機関のうち水を扱う機関は、他に海洋水産部がある。主に海と関連が多いが、中央内水面研究所など川や河川に関連する機関も保有している。

2. 事業

○韓国水資源公社の主な事業は、

- ①統合管理事業(流域統合水管理センター、梁・河川・河口・ダム運営、水資源情報調査・管理、施設安全管理)、
- ②水供給事業(広域上水道、地方上水道、カスタマイズ型産業用)、下水道事業)
- ③水辺事業(水辺地域に新都市造成、先端産業団地造成)、
- ④エネルギー事業(水力発電、潮力発電、水上太陽光発電)、
- ⑤海外事業(ダム開発、水力発電、上水道供給及び水道施設運営効率化事業)など

○韓国水資源公社が管理しているダムは、ソヤン川、忠州、横城、安東、イムハ、ハプチョン、ナムガン、ミルヤン、軍委、金川部港、保賢山、龍潭、大清、サムジン川、ジュアム、釜安、保寧、長興など 18 の多目的ダムと平和、群南など2つの洪水調節ダムそして洛東降下口泥など。

○衛星を利用して水系別に水管理システムを構築し、これを通じて年間約 100 億トンの水を供給する。洪水と干ばつの制御も行っている。

○上水道建設及び管理分野では、漢江下流圏、北漢江圏、東海圏、南漢江圏、洛東江北部圏、

洛東江中部圏、洛東江南部圏、金剛北区圏、金江南部圏、南江圏、島津江圏、永山江圏など全国を12の広域給水券で区分して区域別に必要な水を供給する。

- 水辺事業分野では、シファ地区のシファマルチテクノバレー(MTV)と松山グリーンシティ造成事業、釜山エコデルタシティ、扶余珪岩地区、ナジュノアン地区、欧米ハイテクバレーなどの造成事業を担当している。このほか、韓国水資源公社は4大河川を生かす事業を担当している。
- 上水道広域行政問題を補完する国家工業企業でもある。水道水の浄水及び配給は各地方自治体の所管であるが、その水道水の浄水に必要な原水を供給してくれるのは大部分韓国水資源公社の役割である。
- その他物産業技術スタートアップ企業支援も行っている。

◆四大河川整備事業(抄)

<https://ja.namu.wiki/w/4%EB%8C%80%EA%B0%95%20%EC%A0%95%EB%B9%84%20%EC%82%AC%EC%97%85>

1. 概要

- Lee Myung -Bak(李明博)政権(2008年2月25日 - 2013年2月24日)は、ハン川とナクドン川をつなぎ、韓国半島をソウルから釜山に結びつける公約を掲げた(大運河構想)。
- 大運河構想は国民からの批判をうけ、四大河川事業「Four Rivers Restoration Project」を実施することにしたが、資金調達、洪水調整能力等の事業の有効性、生態系の破壊・湿地の破壊・魚群の死など、与党と野党の間、各地域、事業者や住民の間で一大論争を巻き起こした。
- 四大河川事業をめぐる論争は、Park Geun-hye(朴槿恵)政権(2013年2月25日 - 2017年3月10日)、Moon Jae-in(文在寅)政権(2017年5月10日 - 2022年5月10日)を経て、現在に至るまで続いている。



